

# 海とにんげん & SOS

2025. 6.30 Vol.49



## 干潟で生きものと出会う

写真は、5月28日、海のない県から鳥羽市立海の博物館に来館した小学生が、博物館のスタッフ指導のもと、博物館から歩いて行ける干潟に出て、生きものを捕まえ、観察したときの様子です。

海辺に出るのが初めての生徒が多かったのか、砂浜を歩くと「細かくてきれいな砂」とか「ふわふわ、気持ちいい」などの声が聴こえてきました。

砂浜を歩き続けて、干潟の一角に到着。そこで干潮と満潮の海面の位置、また危険生物がいることなどの説明を受けた後、生徒たちは網を片手に生きものを探し始め、見つけた生きものをどんどんバケツの中に入れていきます。45分後、集合の合図があると生徒たちは生きものの入ったバケツを持って集まってきました。捕まえてきた魚、蟹、海老、貝などを観察ケースに入れて、みんなで輪になって名前や生態などについて説明を聞きました。生徒たちが捕まえてきたのは、魚はメジナ、ハオコゼ、ミミズハゼ、ギンポ。蟹は、マメコブシガニ、ガザミ、イソガニ、コメツキガニ。海老は、イソスジエビ、エビジャコ。貝は、カガミガイ、ハマグリ、テングニシ、アラムシロガイ。それと砂浜のうえで見つけたヒトデ(モミジガイ)やスナチャワン(ツメタガイの卵塊)、ミズクラゲなどなど。

みんな、初めて目にする生きものに興味津々、ミズクラゲやスナチャワンを恐る恐る触って大喜び。「黒いもの捕まえたけど何？」と持ってきたのはクロシタナシウミウシ、ケースに入れて暫くすると動き出したのを見て「ビックリ」。「大きな貝を捕った」と持ってきたのはテングニシ。「食べると美味しいよ」と話すと「旅館に持って帰って食べる」と言い出して、なかなか放さなかったり、終始生徒たちは大はしゃぎ。干潟の生きものとの初めての出会いを楽しんでいる様子が私にも嬉しくなりました。

(平賀)

|                        |      |                        |    |
|------------------------|------|------------------------|----|
| 天然素材でつくられた漁撈用具〈下〉…………… | 2～3P | 鳥羽市小浜「南無阿弥陀仏」の碑 その② …… | 5P |
| 一海の博物館の収蔵資料一……………      | 平賀大蔵 | 企画展「魚がへ～んしん、かまぼこ参上！」…  | 6P |
| アマモ場が復活するために……………      | 4P   | 書籍紹介『未来につなぐ海女たちの声』………… | 7P |
| 浦村地区藻場保全活動組織……………      |      | 『島の暮らしを支える漁業と生業』……………  |    |